

# 一般質問

市政全般にわたり17人の議員が質問しました。



## 市内小・中学校女子トイレへの生理用品の設置、実現を

星野 久美子議員 《日本共産党》

小・中学校の女子トイレへの生理用品の設置は、県内では既に11市5町で行われていますが、本市では保健室に取りに行かなければなりません。このことについてアンケートを行うなど、子供たちの声を聞いたことはあるのでしょうか。また、本市で、女子トイレに生理用品を設置できない理由を伺います。

**教育長** これまで特段アンケートは実施していません。しかし、児童・生徒を取り巻く環境、生理用品を設置する目的、近隣市の状況等も変わってきていることから、児童・生徒の思いも含め、確認をしていきたいと考えています。



## 不登校児童・生徒の居場所づくりについて

長瀬 未紗議員 《会派に属さない議員》

不登校児童・生徒は年々増加していますが、子ども自身に問題があるわけではなく、その背景にある学校教育の在り方こそ変わっていくべきだと私は思います。すぐには変わらない現在の教育課程、学校教育の中でも、工夫次第で不登校児童・生徒や保護者に少しでも優しい学校になっていくと考えますが、学校内における居場所づくりを今後どのように進めていくのか伺います。

**教育長** 令和6年度は、県費負担の支援員を各中学校区に1人ずつ配置し、学校内での居場所づくりの事業を拡充していきたいと考えています。



## 市長の政治姿勢を問う

熊切 和人議員 《自民党・いさま》

市長は、芥川薫県議会議員や甘利明衆議院議員の新春の集い、賀詞交歓会での挨拶で、私は20年前から自由民主党を応援している。市長という立場があるので、自由民主党党員は辞めたが、家族は全員自由民主党党員だと話し、甘利明衆議院議員の賀詞交歓会では、自由民主党の政策に賛同し、私も自由民主党の政策を押し進めているとも述べていました。私も自由民主党の公認議員として誇らしく思うのですが、どのような政策を押し進めているのか、お示しください。

**市長** 私が政務で参加した場において、自由民主党の政



## 災害時に備えて早急に液体ミルクの備蓄を求める

内藤 幸男議員 《自民党・いさま》

能登半島地震では、断水状態でも使える液体ミルクの支援が助けになったとメディアで取り上げられました。液体ミルクは、東日本大震災や熊本地震の際にも重宝され、現在は全国の半数の自治体が独自で購入しています。乳児のいる女性のプライバシーを守り、断水時にも利用できる液体ミルクの備蓄を早急に行うべきだと考えますが、見解を伺います。

**市長** 子どもたちの学校の居場所づくりについては、ほかの取組なども含め様子を見ながら、必要がある場合は、市費の対応ということも今後考えていかなくはならない課題であると認識しています。



## 座間市役所地下駐車場利用者の利便性向上について

京免 康彦議員 《自民党・いさま》

いつでも、どこでも、誰でもと言われている携帯電話は、現在ではほとんどのビルの中や地下駐車場、地下鉄、地下商店街で通話、通信ができますが、座間市役所地下駐車場ではそれができません。利用者からも非常に不便の声が寄せられており、担当部署も市民の声を受け止め、通信環境の改善に向けて取り組んでいるとのことですが、見解を伺います。また、市役所地下駐車場の番号表記について、現在地が分かるように、もう少し明確にする必要があると考えますが、改善の余地があるのか見解を伺います。



## 児童・生徒に配慮した健康診断実施のための環境整備について問う

伊藤 多華議員 《座間市公明党》

令和6年1月、文部科学省が「児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について(通知)」を出し、各学校においては、児童・生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備に取り組みよう言われています。小・中学校の健康診断では子どもの上半身が裸で行われることで、異性の医師に裸を見られたくないという保護者や児童・生徒から不安の声が上がっています。子どもに寄り添った環境整備が必要と考えますが見解を伺います。

### 議会日誌

15	議会運営委員会
2	第1回定例会本会議
26	第1回定例会本会議
2	第1回定例会本会議
3	第1回定例会本会議
1	第1回定例会本会議
4	議会運営委員会
5	第1回定例会本会議
6	企画総務分科会
7	民生教育分科会
8	都市環境分科会
11	企画総務常任委員会
13	民生教育分科会
14	都市環境分科会
18	都市環境常任委員会
19	都市環境常任委員会